

新指導要領「特別支援教育」指導上の工夫 障害種別→教科別記述へ

2017/07/23

- ①特性の理解
- ②長所を伸ばす
- ③障害者差別解消法
(社会的障壁の除去)
(合理的配慮)
- ④障害の定義(ICF)
- ⑤障害理解教育
(パラリンピック)

就労・社会参加
生きる

上の工夫=障害種別から全ての教科記述へ 篠山市立味岡小学校 川原雅樹

A インクルーシブ

- ①指導の工夫
- ②高校の通級
- ③障害者理解
- ④パラリンピック
- ⑤多様性の尊重

指導上の工夫

<障害種別>



<教科別>

視点に立ち、幼児児童
②対象は知
の違いを
中央教育
高め、困
除去の合
10世界保
は、健康状
であって、
よって生ず
面から捉
4)パライ
の意図、
平成30
ついては
わらず、
則の大
日
拡大
体験
報入力
したり、読み
りやすくす
用を限定し
報のイメ
ない場合
ことを実
どを通じ
分りやす
③情報の統
において学
が記入され
①体験の題
③経験の場
①情報のイ
なく理解が困
り上げ、既習
②情報統合
式で表すこと
味のある題材
よう印を付け
③情報統合=空間図形の理解が難しい場合=立体
模型で特徴ある部分を触らせる、言葉で特徴を説明したり、
見取図や投影図と見比べて位置関係を把握
④グラフ=縦軸の幅を変えたり、ヒストグラムでは階級
の幅を変える、複数のグラフを見比べる→よりよい表現

①特徴がわかりやすいものを例示する②多様な材料や用具を準備する③種類や数を絞る④色や形=自分や他人が感じたこと考えたことを言葉にする
★E-8道徳 気持ちの理解が苦手=①役割を交代しての動作化副化 ②適度な時間での活動切替 ③許容

①情報入力

(見る・聞く・触れる)

②情報のイメージ化

(体験不足・語彙不足)

③情報統合

(色形大きさ・空間認知)

④情報処理

(短期記憶・感情コントロール)

⑤表出・表現

(話す、書、動作)

算数科における筆算や暗算の指導

ADHD (注意欠陥多動性障害)、自閉症:

話して伝えるだけでなく、メモや絵など

を付加する指導 など

教科別

■ 字ひの過程で考えられる困難さことに示す。

(小学校学習指導要領解説国語編など)

- 【困難さの例】 ※教科等の特性に応じて例示
- | | |
|---------------------|------------|
| 見えにくい | 体験が不足 |
| 聞こえにくい | 語彙が少ない など |
| 触れられない など | 《情報のイメージ化》 |
| 《情報入力》 | |
| 色(・形・大きさ)が区別できない | |
| 聞いたことを記憶できない | |
| 位置、時間を把握できない など | 《情報統合》 |
| 短期記憶ができない、継次処理ができない | |
| 注意をコントロールできない など | 《情報処理》 |
| 話すこと、書くことが困難 | |
| 表情や動作が困難 など | 《表出・表現》 |

中教審答申(H28)

※ 中学校及び高等学校も同様。
幼稚園については、幼児期の特性に応じた、困難さの例を示す。

6.5%

発達障害

自閉スペクトラム症

Autistic Spectrum Disorder

ADHD(注意欠如・多動症)

Attention Deficit Hyperactivity Disorder

LD(限局性学習症)

Specific Learning Disorder

平成24年5月28日 日本精神神経学会
「DSM-5 病名・用語翻訳ガイドライン」より

What gave the finishing touch I asked for a high 5, he hugged me true barber love !!

  1.5万件

James Williams

①何をしている？
(2人の関係)

①自閉症
②理容師

合理的配慮

妥当な(当たり前)

Reasonable Accommodation

調整・変更

こっちにこい



寄り添い

合理的配慮例(文科省)

障害種別の学校における「合理的配慮」の観点(案)H23年12月文部科学省
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/046/siryu/attach/1314384.htm

p77

過度な負担



①事業の目的+②予算 (行政機関等・事業者→合意形成)

- ①不器用さに配慮した教材の配慮
- ②学習活動の順序を一定にし、次の活動が予測できるようにする
- ③自尊心を高めることができるようにする
(叱責を繰り返さない。努力を認め、
以前よりよくなったことや同じようにできたことを褒める)
- ④注意の困難さに配慮した教室環境の整備
(過剰な情報を精選する、掲示物や表示物の整理)
- ⑤各教科などの指導において、視覚的に情報を提供する
- ⑥指導目標に直接かかわらない学習活動は省略し、
必要な活動だけを確保する
- ⑦文字の練習や計算練習への配慮
(単純な繰り返し練習が効果を上げない。)

合理的配慮例 (文科省)

障害種別の学校における「合理的配慮」の観点(案)H23年12月文部科学省
http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/046/siryo/attach/1314384.htm

p77

過度な負担



①事業の目的+②予算 (行政機関等・事業者→合意形成)

校長

保護者

担任

合意形成

教科別

- ④注意
- (過乗)
- ⑤各教
- ⑥指導
- 必要
- ⑦文字

障害の一般的な特性理解

正確な科学的・医学的な知識

アセスメント（観察と記録）

問題点の把握（優先順位）

まずは一つの支援

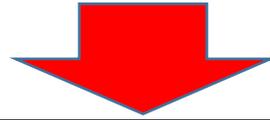
万策

結果（子どもの行動）

個別の支援計画

見直し

アセスメント



1 こっち見て行動

反応しない
消去→バースト

2 何かしらの原因

(1) 逃避(できない)

原因・環境調整

(2) 要求(～したい)

スキルを教える

(3) 刺激(環境)

環境・別方法

様々試しながら原因と対応をさぐる→記録と計画

ワーキングメモリー

= **作業記憶**

情報を集めて
一時的に記憶し、
それらを統合したり
分解したりして
計画を立てたりする部分である。



少ない

支援②対応を工夫する

セロトニン5 (平山諭)

- (1) みつめる
- (2) ほほえむ
- (3) はなしかける
- (4) さわる
- (5) ほめる



支援②対応を工夫する

ドーパミン5 (平山諭)

- (1) 運動
- (2) 変化
- (3) 高得点
- (4) 見通し
- (5) 目的



支援②対応を工夫する

授業中に動かしてあげる

- (1) 立って一度読みなさい。
- (2) ノートに書きなさい。
- (3) 指書き・空書き
- (4) 指をさしなさい。
- (5) 書き終わったら持ってらっしゃい。
- (6) 席を離れて問題を出し合いなさい。
(相談、ノートを見せ合う)

発達障害

ADHD、LD、高機能自閉症

授業が落ち着くポイント3

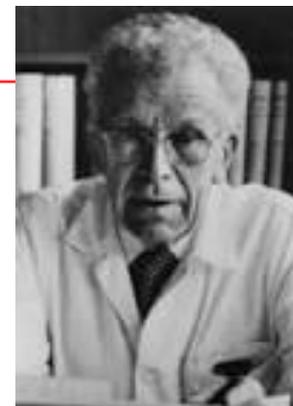
- 1 低刺激にする
- 2 全体を優先する
- 3 「教えて褒める」の繰り返し



叱っても意味がありません(ワーキングメモリー・ミラーニューロン)

(1)発問・作業指示→(2)作業→(3)確認・褒める

アスペルガー医師の言葉



①好意的に

(自分が好きになれ)

②親切に

③ユーモアを持って

レオ・カナー医師の言葉

親や教師は子供に対して
過剰な期待をしがちである。
しかもそれを子供の将来を思いやる
愛情だと認識している。
過剰期待は、現状のあなたに
満足していないという
否定的な言葉や感情を伝えることであり、
自己肯定感など決して与えず
むしろ劣等感や自己否定感を与え続けることになる。
治療者や教育者は、子供に何かをする前に
自分は心からこの子を愛しているか自問自答するように。
この子を本当に愛していると実感できたら
どうしようかと迷う必要はない。
何をしてもそれは正しいことになる



1943年
「情動的交流の自閉的障害」
("Autistic Disturbances of Affective Contact")